

家庭学習で育てたい力

みんなでやろうぜ！ 家庭学習WEEK -第3回結果報告-

平成28年3月 別海町教育委員会 作成



別海町教育委員会では、別海町生き抜く力向上策定プロジェクト事業の一環として各学校の自主的な取組が、町全体としての成果につながるよう、「みんなでやろうぜ！家庭学習WEEK」に取り組み、実施期間中に何人の子ども達が家庭学習に取り組んでいるのか人数を集計し、その結果を多くの方に伝え、子ども達の家庭学習の喚起に努めたいと考えました。

この度、今年度最後の第3回目の実施結果がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせしたいと考え、資料を作成しましたので一読いただければ幸いです。
別海町教育委員会教育長 真籠 毅

1 実施期間

平成27年10月26日(月)～平成28年2月26日(金)のいずれかの五日間(月～金)の取組

2 参加校数

小学校9校・中学校9校 計18校

3 参加児童生徒数

小学校955名 中学校478名 計1433名

4 実施結果

<小学校の実施率> 90.2%

<中学校の実施率> 85.7%

<合計実施率> 88.0%

なお、集計の結果、実施率が90%を超えた小学校が6校、中学校が3校でした。また、70%を下回った中学校が1校に減りました。



第3回目の家庭学習の取組においては、小・中学校ともに実施率が向上し、各学校で取り組んでいる「家庭学習の手引」の活用や、児童生徒の振り返りによる学び合いなど効果が出ていると実感しております。また、実施率の向上した要因としては、児童生徒の取組を紹介したり、表彰したりする啓発活動や基本的な生活習慣の定着による学習時間の確保などが考えられます。

家庭学習に取り組むよさが実感できる子の育成



<ある小学校の取組>

A校の第5・6学年では、毎日やってきた家庭学習を互いに評価し合う活動を続けています。友達の家庭学習ノート見て、いいなと思ったところにシールを貼っていく取組を続けています。たったこれだけのことですが、子ども達は、友達のいい学習の仕方やノートの使い方を学び、自分の家庭学習に活かすようになってきました。

<ある中学校の取組>

B校では家庭学習担任制を導入し、今年度で2年が経ち、大きな成果を上げています。

生徒は教師のアドバイスを参考にしながら毎日コツコツと取り組み、先生方も生徒たちの頑張りに少しでも応えてあげたいという思いで、家庭学習帳に毎日コメントを書き続けています。また、この三学期から始まった『復習の手引き』も一つの刺激になったようです。何を学習していいかわからない時には、「まずは復習!」。このような気持ちで、これからも少しずつ継続的に取り組んでくれたらいいと思います。



今こそ、自学力を身に付け、当面する課題を自分の知恵や情報を活用しながら解決し、乗り越えていく「生き抜く力」を育ててほしい。